

看護職員確保に関する情報

－「第七次看護職員需給見通し」策定のための
実態調査(都道府県調査)結果(暫定版)－

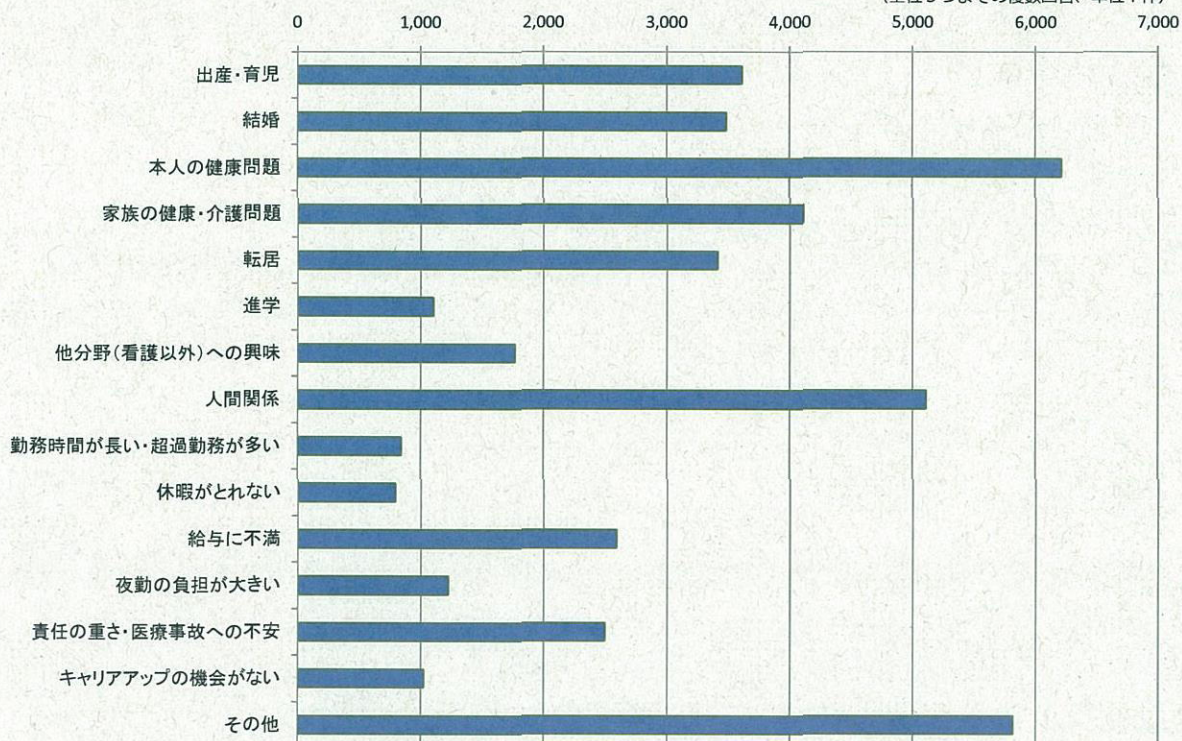
結果概要

- 調査対象: 病院、診療所、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、助産所、保健所、市町村、看護師等学校養成所
- 調査票発送数: 53,834施設
- 有効回答数: 36,451施設
- 有効回答率: 67.7%
- 回答者ごとの調査票発送数、有効回答数は以下のとおり、()内は有効回答数
 - ・病院: 8,743 (7,357)
 - ・診療所: 19,651 (11,250)
 - ・介護老人保健施設: 13,383 (9,193)
 - ・訪問看護ステーション、助産所: 8,264 (5,282)
 - ・保健所、市町村: 2,638 (2,254)
 - ・看護師等学校養成所: 1,155 (1,115)

注) 調査票の記入者は、看護担当責任者(看護部長等)とし、各施設(所)長の了解を得て提出となっている

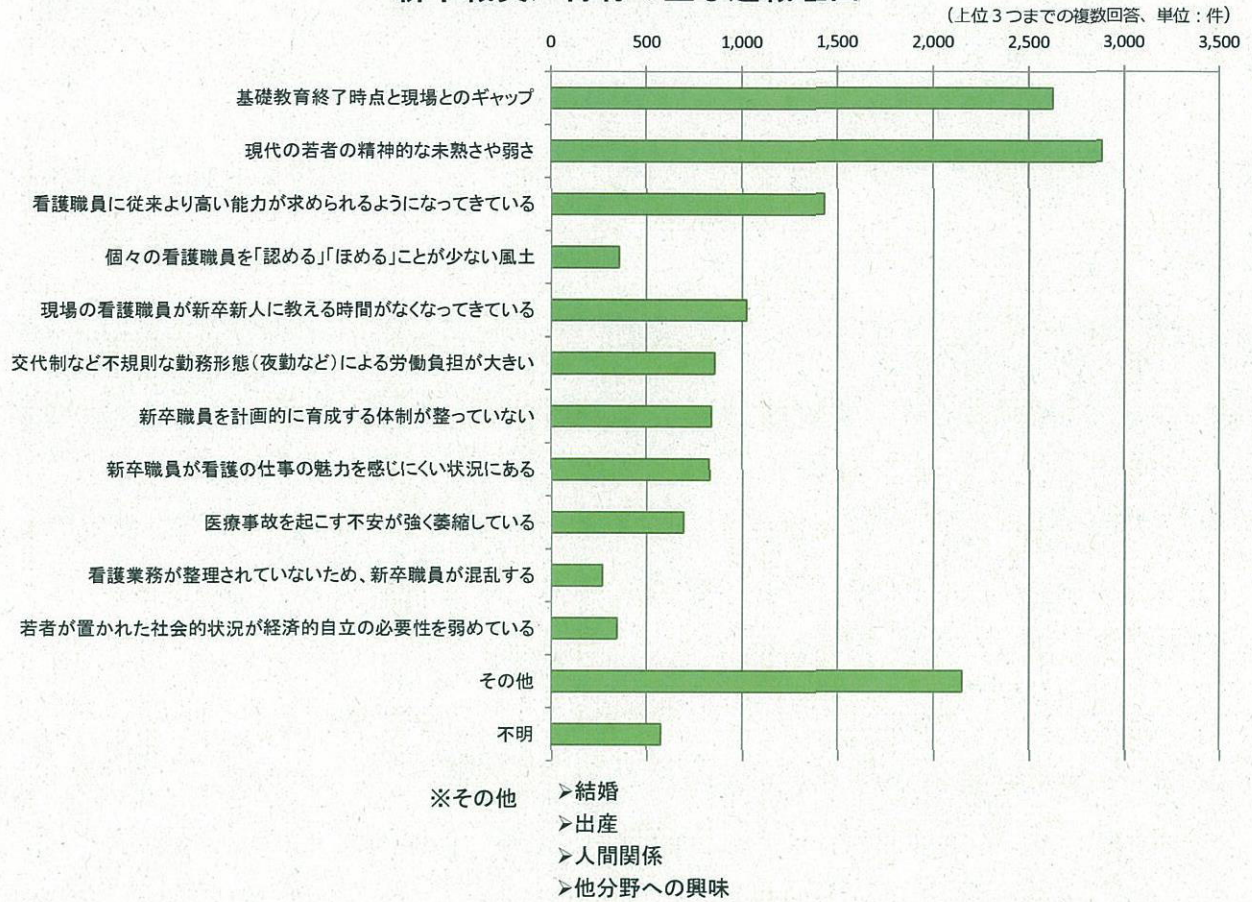
常勤退職者の主な退職理由

(上位3つまでの複数回答、単位: 件)

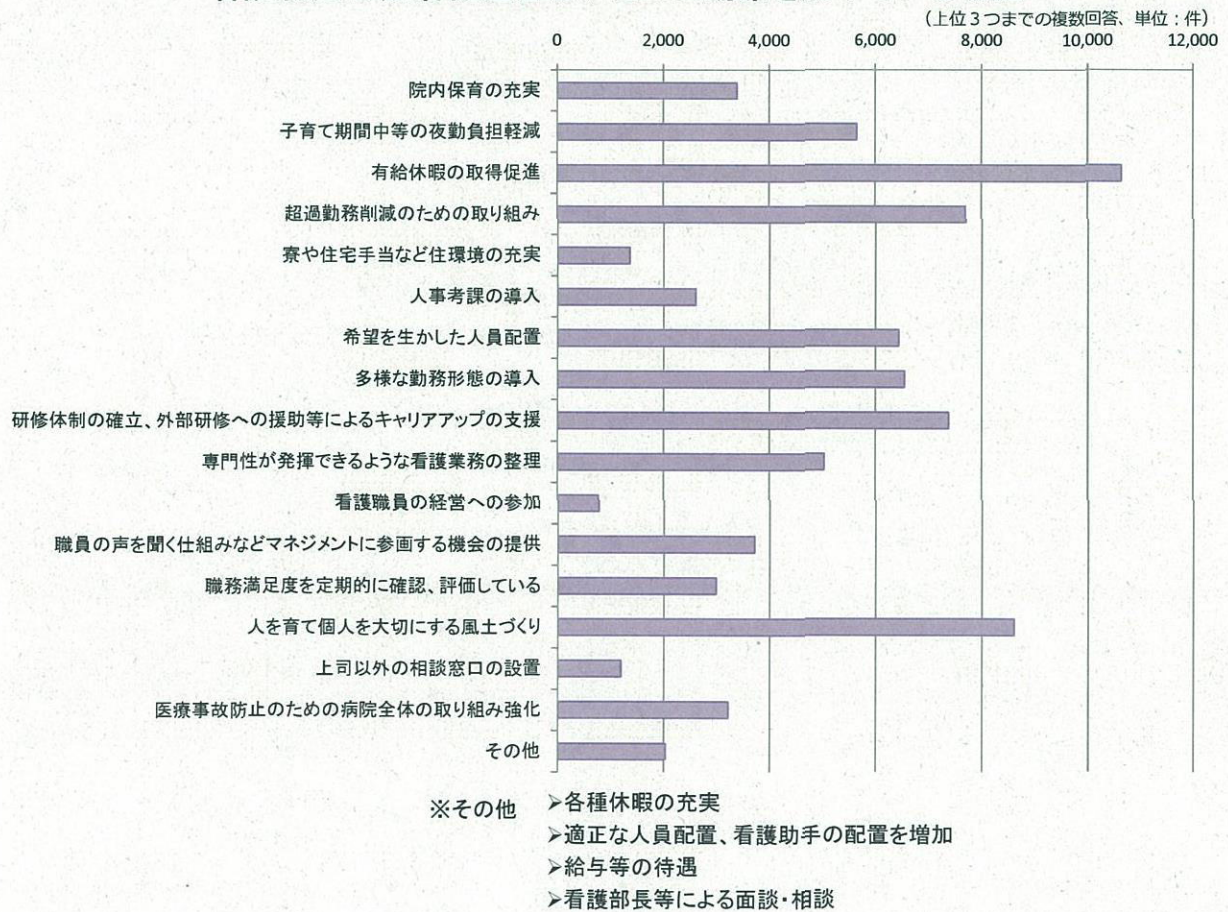


- ※その他
- 他施設への転職
 - 定年退職
 - 家庭の事情
 - 業務内容についていけない

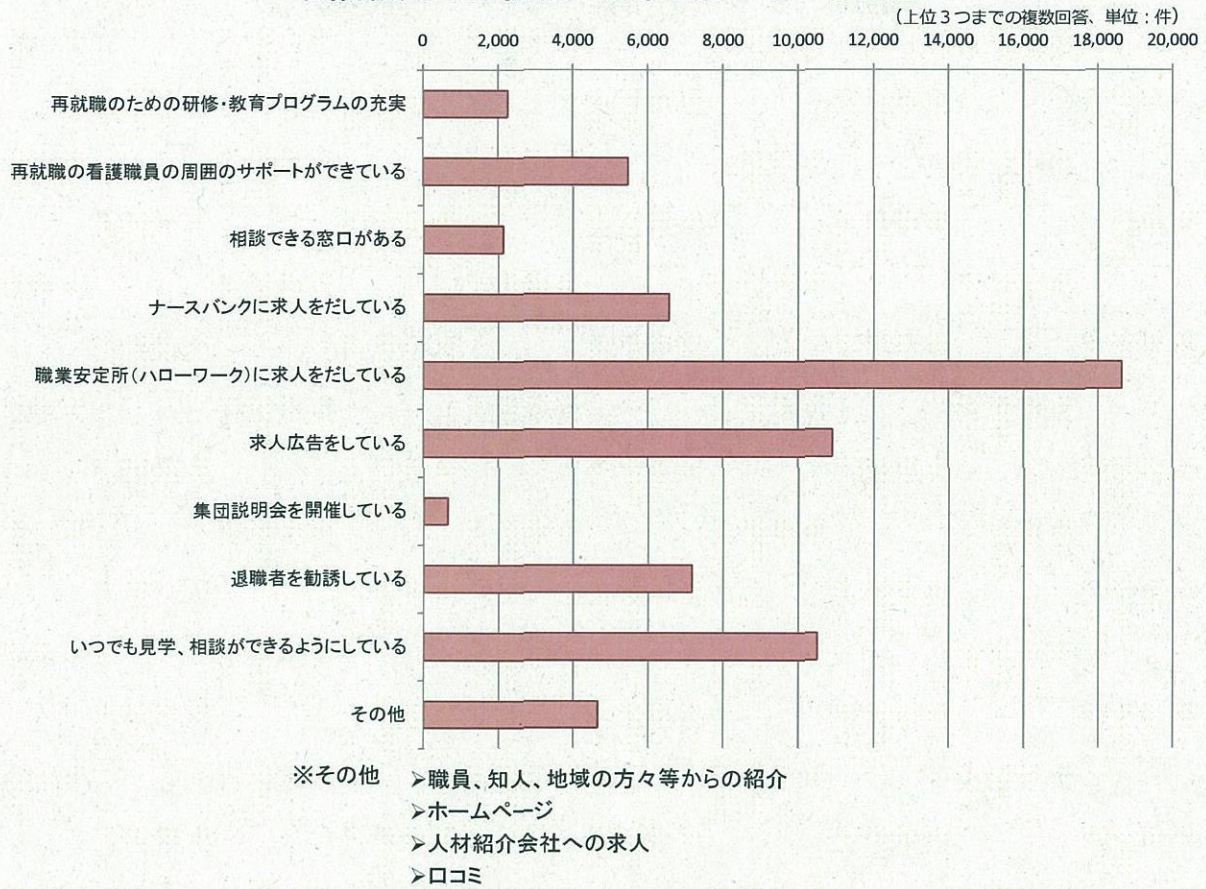
新卒職員に特有の主な退職理由



看護職員の定着促進を促すために効果をあげている取組

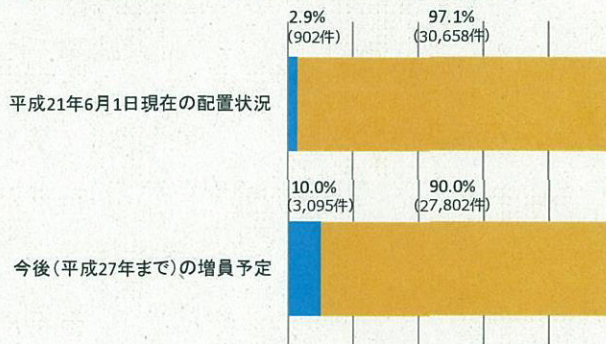


看護職員の再就職に効果をあげている取組

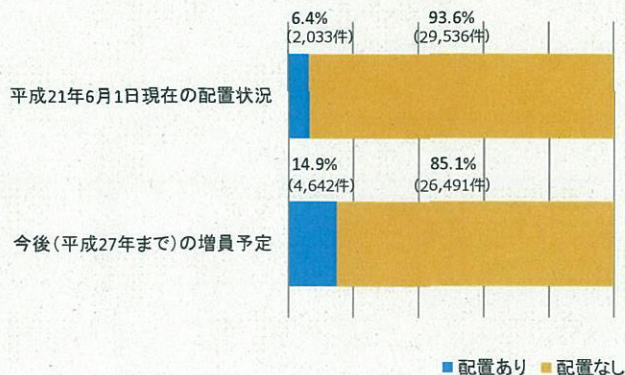


専門看護師・認定看護師の今後の配置計画

① 専門看護師



② 認定看護師



※上段の数値は、回答があった施設全体を100%とした場合の割合
下段の () 内の数値は実数

自由記載に記入された意見の例

○保育に関すること

- ・院内保育への補助、学童保育所の設置
- ・夜間（24 時間）や病児保育所の設置

○勤務形態に関すること

- ・短時間正規雇用や長期休暇制度の整備
- ・子供の体調不良時等の一時的な代替要員の確保
- ・経験豊かな看護を得るため、定年退職者に再就職を進めてほしい

○就業環境に関すること

- ・専門職に見合った給与、超過勤務軽減に向けた人員基準の見直し
- ・夜勤の負荷のため勤務継続意思がなくなる人がいる。

○研修に関すること

- ・長期間を要する研修への派遣体制の整備。
- ・潜在看護師の掘り起こし研修の実施
- ・新人看護職員研修、訪問看護等領域別の研修の充実

○啓蒙活動・養成強化に関すること

- ・看護学校の新設
- ・中高生に対して、看護職を選ぶような働きかけが必要

○職業紹介に関すること

- ・ナースバンクを今後も充実してほしい。
- ・ナースバンク等公的な求人紹介では求人確保ができず、有料紹介の利用が増えている
- ・休暇中の人に、インターネットや新聞などで、各施設の特徴や長所、職場定着の取組など宣伝できればよい

○看護職員の偏在に関すること

- ・看護職員の偏在があり、中小規模病院、過疎地等では看護職員確保が困難である

○業務内容に関すること

- ・アセスメントや記録が多すぎてベッドサイドケアが十分にできない
- ・訪問看護は責任が重く、拘束時間も長いため、精神面のストレスも多い

○診療報酬・介護報酬の改正・充実に関すること